



取締役社長執行役員  
COO&CFO

吉田 勝彦

## 「執行」にフォーカスして 会社の成長を加速させる 徐々に若い世代へ経営をバトンタッチしていく

今年の4月2日、取締役専務執行役員CFOから取締役社長執行役員COO&CFOに就任した吉田です。

今回の新しい体制については、CEOメッセージにもあります通り、私が貝沼会長からCOOを引き継ぎCFOも兼務しています。CEOが策定した経営戦略に基づいて、COOである私は執行部分を担っていきます。ただし、新体制の初日から職務範囲を明確に区別するというのではなく、右図のグラデーションが示すとおり、時間をかけながら徐々に業務を引き継いでまいります。同時に、執行領域の職務であっても、貝沼会長しかできない、あるいはやるべき仕事は、今後も貝沼会長に担当いただきます。

私のバックグラウンドについて少しお話をさせていただきます。ミネベア株式会社に新卒として入社し、まず管理部門を経験しました。その後、シンガポールとタイにある、量産工場で約10年間海外駐在員として勤務しました。さらに、モーター等の事業を広く担当するとともに、さまざまな立場からいくつものM&Aに関わってまいりました。それらの現場で、数多くの事業や大勢の社員との関わりを持ってきた経験によって、当社の幅広い事業全般を深く理解すると同時に、さまざまな部署で働いている社員を知っています。近年は、CFOに就任後、当社グループ全体の経理財務を担当してきました。M&Aの担当役員としては、M&Aの企画からクロージングまでの一連の業務、

クロージング後の統合プロセスであるPMI (Post Merger Integration) を統括してきました。PMIでは、経営統合実務やシナジー創出、成長戦略の策定と執行までを統合した会社と一緒にチャレンジするだけではなく、そこで新しくグループの一員となられた社員との対等で率直な意見交換が大事な要素となります。

このように、急速に成長を実現してきている当社グループにおいて、オーガニックに成長してきた流れと、数多くの経営統合で拡大してきた流れの両方において、広く深くハンズオンで関わってこられたことの蓄積が私の強みと自負しています。また、それこそが、経営目標を達成するために執行力を強化するうえでの大きな財産となると思っています。

同時に、これらの財産やノウハウを次の経営層に引き継いでいく仕組みづくりにも注力してまいります。貝沼会長とともに次世代、次々世代、その先の当社グループを担える可能性のある若い人材を発掘して育成してまいります。重要なポストにも積極的に登用し、タフアサインメントを与え、早い段階から成功だけでなく失敗を含めたさまざまな経験を積ませていきます。そのなかから次世代の経営を担っていく人材が大勢育ってくれることを期待しています。CFOの役割も比較的早い段階で新しい人たちに移譲していきたいと思っています。受け皿となる人材プールをつくり、CFO業務のミラーリングを開始しています。

2029年3月期の目標である売上高2.5兆円、営業利益2,500億円は、COOとして必ず達成させたいと考えています。そこに至るまでの視界もかなりクリアです。グループ全体の相合力を発揮して、各執行事項を完遂させます。また、我々を取り巻く環境は刻一刻と変わっており、変化の方向性について予測することは誰にとっても難しい時代

になっています。そのような激変する状況下であっても、この新しい体制でミネベアミツミグループの相合力を高めて、社会的な責任を果たし持続的に企業価値を向上させる会社を次の世代に残していくこと、これが私のミッションです。

### 次世代に向けた戦略と執行の分業体制

